

「うつのみや大通り献血ルーム」がオープンしました

四月一日、多くの方にご利用いただいた「オリオン通り献血ルーム」が、大通りに移転し、新たにオープンしました。広く、明るく、快適で、より利用しやすい献血ルームに生まれ変わりました。ぜひ一度、お越しください。

県内で使われる血液は県内で集められます

もしあなたが病気や事故にあつて、輸血がすぐに必要になつたとき、病院に血液がなかったら大変です。人間の生命を維持するために、欠くことのできない血液は、生きている細胞なので、長期間にわたつて保存することも、人工的に造ることもできません。

日本で使われる血液は、国、県、市町村と日本赤十字社とが一体となつて、すべて献血でまかなうものです。県内で必要な血液は、県内で行われる献血で集められます。もし血液が足りないときは、他県と調整して供給します。輸血に必要な血液を、いつでも充分に確保してお

くため、より多くの皆さんに献血のご協力をお願いします。

献血した血液はどうなるの？

献血ルームや献血バスで集められた血液は、その日のうちに宇都宮市内にある赤十字血液センターに運ばれます。ここでは、検査から製剤、病院への供給まですべてが行われていきます。検査では、輸血を受ける患者さんの安全を考えて、血液型や感染症を予防するためのさまざまな検査を行います。検査された血液は病院ですぐ使えるように、赤血球、血しょう、血小板に分けられ、それぞれの目的にあつた血液製剤になります。そして、県内の病院から手術などのために注文が入ると、血



新しい献血ルームの待合室。インターネットが利用できます



「献血ルームが新しくオープンしたと聞いてきました。テレビを見ながら、ゆったりと献血することができて、快適です」

成分献血と400ml献血に、特にご協力を

液運搬車で運ばれます。赤十字血液センターでは、いつでも必要な血液を届けられるように二十四時間体制で準備しています。

成分献血は、血しょうや血小板といった特定の成分だけをいただき、回復に時間のかかる赤血球を再び体内に戻す方法です。これは、献血される方の身体への負担が軽くなり、より多くの血しょうや血小板だけを集められるという長所があります。

また、400ml献血から作られる血液製剤は、輸血を受ける患者さんの副作用などが少なくなるという長所があります。このことから、新しい献血ルームでは、成分献血と400ml献血のご協力を、特にお願いしています。

広めたい、若い世代へ

現在、県内の献血者数の約半数は十代から二十代の方ですが、このような献血を支える健康な若い世代は、少子化により減ってきています。

一方、医療技術の進歩や高齢化などにより、献血した血液から作られる血液製剤の需要は、今後ますます増加していくと考えられます。

そこで、県では、安全な血液製剤を県内の医療機関へ安定的に供給するため、若い世代を中心とした県民の皆さんに、成分献血と400ml献血への一層のご理解と、ご協力をいただきたいと考えています。

◇問合せ 県業務課
TEL 028-623-3119

うつのみや大通り献血ルーム

宇都宮市大通り2-1-5
明治安田生命宇都宮大通りビル1F
TEL 028-632-1131
<http://www.jrcbc.jp/>

●12/31、1/1を除く毎日営業しています

●受付時間

成分献血 10:00～12:15、14:00～17:15

400ml・200ml献血 10:00～13:00、14:00～18:00

成分献血と400ml献血に、ご協力ください



I
LOVE
献血

新しい県庁舎についてお知らせします

誰もが利用しやすい親しみやすい県庁です

平成十九年度中に完成予定の新しい県庁舎は、緑豊かな県民広場を前庭として、議会議事堂、行政庁舎、県勢資料館（仮称）が並び、敷地全体が周辺の街並みと一体化したものとなっています。

行政庁舎一階には、県内の様々な情報や県政の動きを紹介する県政情報コーナーがあります。二階には、相談窓口や情報公開ルーム、資料閲覧コーナーなど、県民サービスの拠点となる施設を配置します。また、最上階の十八階は、県民に親しまれる開放感のあるスポットとなるよう、展望ロビーやキッズコーナー、レストランなどを設けます。

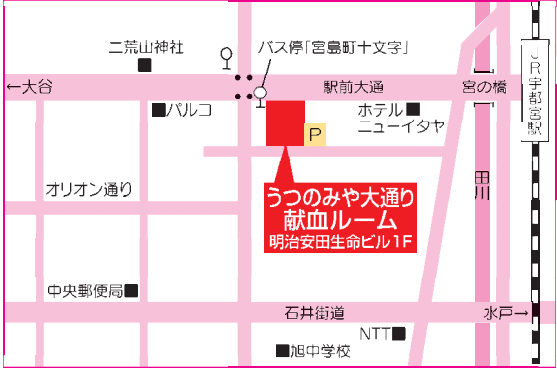
議会議事堂の議場には、親子連れの方や障害のある方にも対応した傍聴席を設置するなど、誰もが訪れやすく親しみやすい議事堂を目指します。



傍聴席から見た議会議事堂の議場

旧庁舎の解体工事は七月中に終了し、新庁舎の建設工事は十月から始まる予定です。なお、新庁舎の三分の一のサイズの模型を、県中央県民センター（栃木会館二階）に展示しています。ぜひ、ご覧ください。

◇問合せ 県庁舎整備室
TEL 028-623-2083



南西側からみた新庁舎の全景（左側：議会議事堂、右側：行政庁舎）



県民ロビーは県産材の大谷石が使われ、親しまれる空間を演出します



展望ロビーからは日光連山や街並みなど、県内広域の眺望が楽しめます



「かけはし」代表
松下奈緒子さん
宇都宮市在住

「ぜひ一度、献血やってみて」

～学生献血推進ボランティア

「かけはし」の活動～

県内で献血推進活動をしている学生やサークルが集まって「かけはし」をつくっています。この名前には、血液を提供してくださる方と、血液を必要とされる方との間に立ち、その架け橋になりたいという意味をこめました。自分たちで献血に関する知識を高めながら、次の世代にそれを伝えていきたい。特に、同世代の仲間やそれより若い方たちには、献血を身近な存在として感じてもらうことができればと思い活動しています。今年も、楽しいサークルの仲間と、県内各地で献血推進キャンペーンを行いますので、見かけたら声をかけてくださいね。